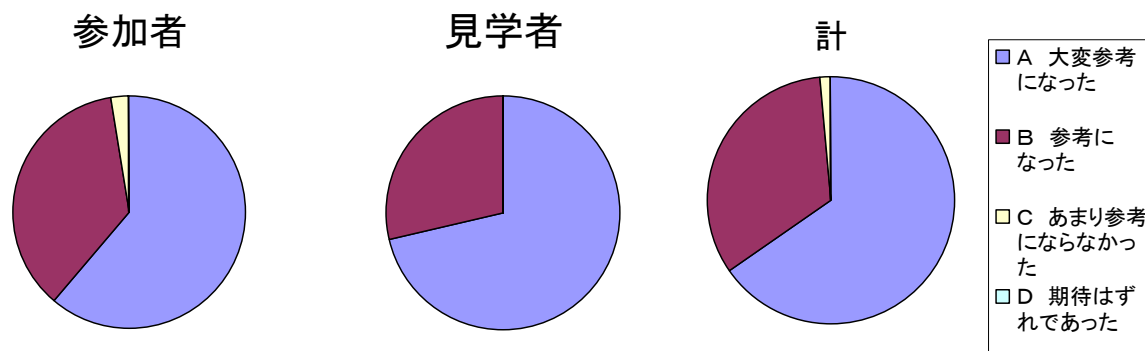


避難所運営D I Gアンケート結果

	計	参加者	見学者
アンケート 回収状況	6 9	4 1	2 8

1 講座の内容について

	参加者	見学者	計
A 大変参考になった	2 5	2 0	4 5
B 参考になった	1 5	8	2 3
C あまり参考にならなかった	1		1
D 期待はずれであった			
無回答			
計	4 1	2 8	6 9



理由

【参加者】

<大変参考になった><参考になった>

当事者の観点から、みんなの意見を交換することの大切さを感じた。
体験しなければ分からない事がたくさんある事に気づいた。
まずやらなければいけないこと、中心者に指示、必要なものなど気づいた点が多かった。
講師の話が具体的でわかりやすく、大変参考になった。
普段なにげに生活している行動や物が重要な役割をすることに気づいた。
学校が避難場所と知っていても、実際にどのように生活するか考えてみた事がなかったので良い経験になった。
過去の地震の体験が聞けて良かった。
グループで話し合いながら具体的な考え認識を共有化することができた。
住民の皆様の意見・考え方を直接聞くことができた。
避難所の開設をするにもいろいろな準備があると改めて知らされた。
避難生活を具体的にイメージすることができた。

＜あまり参考にならなかった＞

いくつかの話は参考になったが、期待ほどではなかった。
マニュアル整備検討で考えていることの方が深く検討していると思う。

【見学者】

＜大変参考になった＞＜参考になった＞

学校避難所として使用する場合の問題点が見えてきた感じがする。
行政や学校等に頼る気持ちになるが、大切なことは、自分の命は自分で守り、互いに助け合う事が自分も守られ他人をも守ることにつながる事が分かる講話だった。
障害者の方も参加され、一緒に課題を検討したことが良かった。
今まで考えていないことばかりであった。
講師の話が良く理解できた。
災害をシュミレーションすることの大切さを痛感した。
避難所での生活は、予想を越えた問題点がたくさんあることを知った。
自主防災組織の活動が進んでいないので参考になった。
普段からの備えの大切さを改めて考えさせられた。
学校側と避難者側の両方から防災、避難について考えることができた。
避難所での生活を少しでも快適にできるようにするコツがあることを教えられた。
今後自治体での運用・啓もうにヒントが得られたように思います。

3 DIGに参加（見学）して気づいた点

事務方の準備が行き届いていた。
参加者が意欲的であった。
実際の震災時の話をもっと聞きたかった。
避難所運営についてあまり考えていないことに気づかされた。
今日学んだことを地域の方に伝えたい。
災害時の組織作りの一歩になったと思う。
自治会のリーダーとしての共通意識を持てた。
子ども・孫達と話し合い、いざというときに役立てるようにしたい。
日ごろから災害に向けた視点で考える行動をとることを教えられた。
テーマを決めて、地域力、人と人とのつながりを強くする事が大切であることを強く感じた。
毎年行って欲しい。
少し時間が足りなかった。
避難所単位での自治会の連携が事前に必要だと思う。
避難所DIGのあり方は、地域の特徴を話し合い、方向性を探求することが大切であり、各地域で行っていききたい。
避難所の運営について今年度から取り組む予定です。
昼食が思ったよりおいしかった。

体育館の床の振動が大変である。
関連自治会・自治体への展開を早急にお願いします。
少し時間が長すぎる。
災害時要援護者が避難所生活できるように考えていきたい。
防災が進んでいる自治体の資料を知りたい。
課題の与え方をもう少し具体的にすると、グループワークが活発・効率的になると思う。
布佐平和台自治会の皆さんの一生懸命な取組をみて感動した。
本事業をマスメディア等を組み入れて、アピールした方が良いと思った。
車イスが少しの段差でも上がることができないということを実演していただいたことが良かった。
グループワークの様子をスクリーンに出して欲しかった。
自治会を越えた取組が必要であると思った。今後更に自治会の連携を深めていかなければいけないと思った。
千葉県のリトルアップの事業として、現状を知ることができて良かった。
ブロック塀の耐震性について学区の通学路の安全を見直すことが必要と感じた。
学校の安全について関係機関と連携することの大切さを感じた。
見学者としては実感が働かない。
「自助」は個人の意識を高めていくことである程度達成することができるが、「共助」は子供たちの防災教育を通し長い年月をかけていく必要があると感じた。
避難所内生活のルールを、どの様なことを誰がやるのかケーススタディして欲しい。
災害時要援護者の対応の具体策、事例紹介をして欲しい。
知的障害者（児）のように、大声を出してしまう、パニックを起こしてしまう可能性がある人も避難所にはいるということも周知されればと思う。
避難所の仕組みについてか、設備についてか観点を見失うときがあった。観点を絞った方が話し合いが深まると思う。
具体的に段取りを教えていただき、シミュレーションした方がよかったのではないかな。
万一、被害が拡大し、避難日数が延びても学校・市との調整でゆとりのある生活を過ごせる条件を習得しました。
実際の行動を体験してみたかった。